



# 特集

## 3010号、いざ日光へ

2013年4月23日、岡山の街から1両の路面電車が故郷へ里帰りしました。その電車は岡山電気軌道3000型3010号(元東武鉄道100型109号)。1953年に宇都宮車両で製作後、東武日光軌道線で使用され、同線の廃止に伴い1969年に岡山にやってきた車両です。今年でちょうど還暦。実に車齢の4分の3を岡山で過ごしたその車両は、昨年、故郷日光へ里帰りが決まりました。

そして、日光への旅立ちを迎えた2013年4月23日。3010号の日光に向けての旅立ちは岡山電気軌道の粋な計らいによって、多くの鉄道ファンに見送られてのものとなりました。今回は、その3010号の旅立ちのレポートです。

8:40 - 朝方、仕事をこなしてきた関係で予定よりちょっと遅い東山入り。3010号はパンタグラフを外された状態で、北車庫の2番線にちょこんと収まっています。



8:50 - 吊り上げに使う吊り具のセッティング開始。吊り上げに使われる2台の大型クレーンも到着。



8:58 - 運搬に使われる大型トラックが到着。台車と車体を分離して運搬する都合、2台のトラックが用意されました。

9:03 - クレーンがブームを伸ばして、いよいよ吊り上げの準備に入ります。1011号、MOMO2の搬入の時の吊り上げ作業の光景と、記憶がかぶります。

9:10 - 車体への吊り具の取り付け開始。取り付け位置は台枠部分の一番強度があるところ。古い車両なので、吊り上げ時にポッキリと車体が折れてしまわないか不安...



9:26 - いよいよ吊り上げ。私の不安なんてどこの空、車体はきれいに吊り上げられました。電車もどこか緊張気味に見えます。

9:36 - 車体のトラックへの積載完了

9:45 - 残す台車の吊り上げ作業が開始。車体と違ってあっけなく吊られて、トラックに載せられていきました。



10:10 - わかやま応援館館長代理のSUN たまたまが3010号のお見送りに。当の本人(本猫?)は見送りよりもだっこして連れ回して貰っていることの方がうれしそうな感じでしたが。



10:36 - 予定より早く作業が終わったらしく、岡山電気軌道の計らいで急遽撮影会が設定されました。トラック載っ

た電車を撮れるのはかなり珍しいことですが、この電車は岡山を去って行くということを考えると少し複雑な気分になります。



10:40 - いよいよ日光に向けての旅立ちの時です。電車はどこか寂しそうな、でもふるさとを楽しみにしている複雑な表情で岡山を旅立っているように見えました。